

トンネルを掘る
センス
「SENS マシン」模型
などを初展示

鉄道開業 150 周年!

鉄道ファンお待ちかね 第 29 回鉄道フェスティバル

10月8、9日の2日間、日比谷公園（東京都千代田区）にて「第29回鉄道フェスティバル」が4年ぶりに開催されました。

鉄道ファンお待ちかねの本イベントは、鉄道関係者によって、来場者が鉄道の役割についての理解と関心を深めることを目的として開催されています。今年は明治5年（1872年）10月に新橋・横浜間（現・桜木町）に最初の鉄道が開業してから150周年を迎える記念すべき年です。会場ではスタンプラリーや鉄道事業者のオリジナルグッズの配布のほか、写真撮影スポットとして、1号機関車の実寸パネルや、「年表で見る日本の鉄道開業150年」のコーナーも設置され、2日間で約2万人が会場を訪れました。

JRTTのブースでは、開業したばかりの西九州新幹線に関連した展示を中心に、相鉄・東急直通線レール締結式で使用したモーターカーのヘッドマークや、トンネルを掘る「SENSマシン」の模型などを展示しました。来場者に楽しんでもらおうと職員がアイデアを出し合い、写真の掲示や動画の放映など工夫を凝らしたことで、多くの来場者に足を止めてもらうことができました。

来場者は普段見られない展示物に興味津々の様子で、鉄道への関心の高さが感じられるイベントとなりました。

- ①来場者でにぎわう JRTT ブース。西九州新幹線の特別動画も大型モニターで放映し、多くの来場者から注目を集めました ②ブース内の展示物 ③1号機関車の実寸パネル ④トンネルを掘る「SENSマシン」模型 ⑤「年表で見る日本の鉄道開業150年」パネル



鉄道開業150周年TOPICS

JR 東日本横浜駅構内改札内広場 SOUTH COURT（サウスコート）のデジタルサイネージにて、9月23日に開業した西九州新幹線のPR動画を放映しました（期間：10月1～31日）。

